

ポリオの数十年後に痛み PPS

障害厚生年金の対象

社保庁 認定基準を見直し

ポリオ（小児まひ）になつて数十年後に関節の痛みなどが現れる「ポストポリオ症候群（PPS）」について、社保庁は十七日、厚生年金保険の障害認定上、従来「ポリオに起因する疾患」から「別疾病」に変更することを決めた。

PPS患者は「ポリオ発症時は厚生年金に加入していない」との理由で障害厚生年金を支給されていなかったが、今回の

認定変更で、PPS患者にも同年金が支給されることになる。これまで同庁は、PP

Sをポリオに起因する疾病と認定。乳幼児期のポリオ初診日をPPS初診日とし、成人になったP

PS患者が障害厚生年金を請求しても、発症時は厚生年金に未加入との理由で同年金を支給してい

なかった。しかし、社会保障審査会が同庁の不支給決定を取り消す判決を出すケースが相次ぎ、認定を見直すことにした。同庁によると、①新たな筋力低下がある②ポリオ経験者で足にまひが残る③PPS発症までに症状の安定期間（十年以上）がある――などの条件をすべて満たしたPPS患者は、ポリオとは「別疾病」と認定。PPS初診

▼ポストポリオ症候群（PPS） 乳幼児期にポリオ（せきずい性小児まひ）にかかった患者が、いったん症状が安定した後、中高年になってから新たに筋力の低下や萎

縮、関節の痛みなどを起こす二次障害の総称。ポリオはポリオウイルスが神経細胞を侵すことで手足や呼吸のまひなどの障害が起きる病気で、一九五〇年代から生

ワクチン導入の六一年まで毎年千人以上が発症した。現在は新規患者の発生はないという。PPS患者の正確な数は不明だが、ポリオの

新規患者がいらないのに、ポリオに起因する身体障害者数は九一年度の四万三千人から十年間で一万二千人増えており、この増加分がPPS患者との見方もある。

PS患者が障害厚生年金を請求しても、発症時は厚生年金に未加入との理由で同年金を支給してい

なかった。しかし、社会保障審査会が同庁の不支給決定を取り消す判決を出すケースが相次ぎ、認定を見直すことにした。

同庁によると、①新たな筋力低下がある②ポリオ経験者で足にまひが残る③PPS発症までに症状の安定期間（十年以上）がある――などの条件をすべて満たしたPPS患者は、ポリオとは「別疾病」と認定。PPS初診